

ふくしま減塩推進の取組の振り返り



内容

- 1 取組の背景
- 2 食環境づくりの取組
- 3 R8年度の取組

はじめに

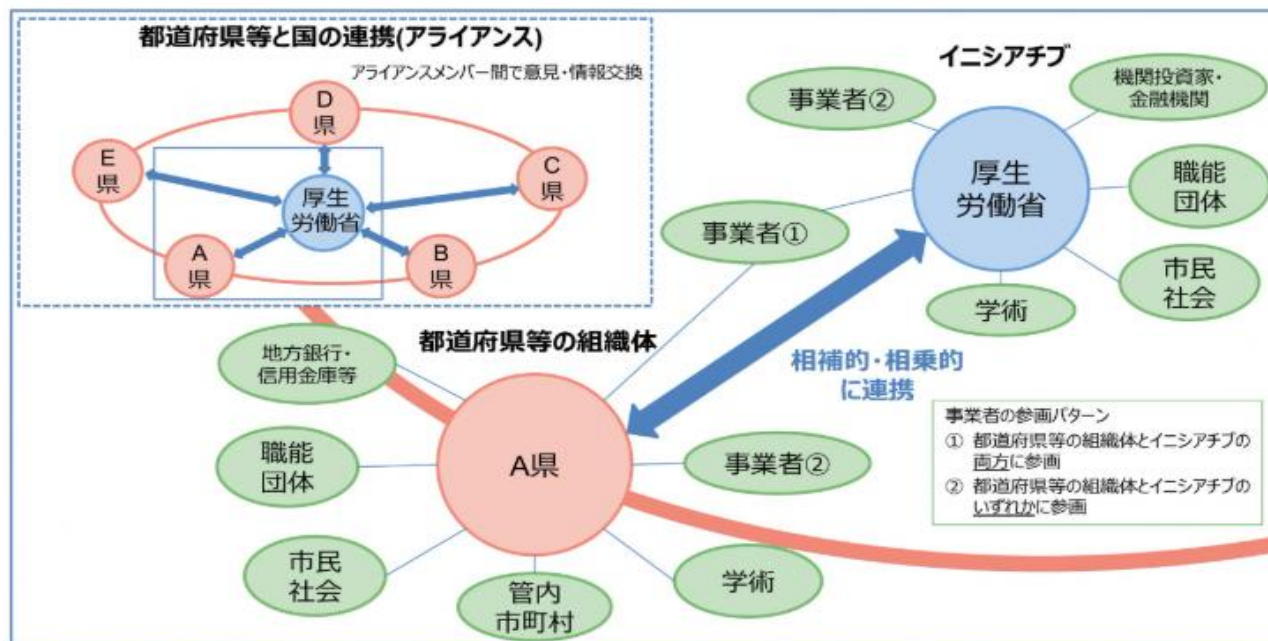
食環境アライアンスの目的

食環境アライアンス（正式名：健康的で持続可能な食環境づくりのための国・都道府県等アライアンス）とは、食環境づくりに関する国と都道府県等自治体の効果的な連携体制を意味します。食環境アライアンスは、国と都道府県等が連携して相補的・相乗的な方策を検討し、健康的で持続可能な食環境づくりを全国各地で効果的に展開していくことを目的としています。

食環境アライアンスの活動内容

活力ある持続可能な社会の実現に向けて、国と都道府県等が連携し、全国各地で産官（又は産学官等）連携による食環境づくりを進めていく必要があります。そのために食環境アライアンスでは、都道府県等での新たな食環境づくりを支援します。

健康的で持続可能な
食環境戦略
イニシアチブ



食環境アライアンス参画の状況

令和8年5月現在

ふくしま減塩推進ネットワーク会議（令和7年3月更新）

首長（または部長等）が
組織体に期待すること



福島県知事 内堀雅雄

福島県では、県民の食塩摂取量が全国でも高く、県民総ぐるみで改善に取り組む必要がある健康課題となっています。

このため、官民一体となって「ふくしま減塩推進ネットワーク会議」を新たに設置し、企業・行政・関係団体と問題意識を共有し、アイデアを出し合いながら取組を考え、それぞれが主体的に対策を行いながら、社会全体で自然に減塩ができる食環境の整備を進めています。楽しく無理なく健康づくりを続けることができるよう食・運動・社会参加を推進している県民運動とも連動し、県民が健康長寿でいきいきと活躍できるようオールふくしまで取り組んでいます。全国各地での取組もどんどん発信いただき、いい意味で競争しながら、ともに健康的で持続可能な食環境を作っていきましょう。

自治体としての重点キーワード

おいしく減塩、誰もが自然に健康になれる持続可能な食環境

地域課題を踏まえた活動目的

第三次健康ふくしま21計画がスタートし、重点的に取り組むべき「肥満・食塩・喫煙」に対し、食の施策としては適正体重と減塩対策を推進していく必要がある。これらの課題の改善に向けては、低関心層でも無理なく自然に健康的な生活習慣をおくることができる環境づくりを進めていくことが重要であり、特に減塩につながる食環境整備の推進体制強化を目的に、企業・関係団体・市町村等を対象とした会議を開催するとともに、県民に減塩の実践を促すイベントや情報発信等を行う。

運営側構成メンバー

- ・福島県
- ・大学
- ・栄養関係の専門学校
- ・市民社会、職能団体

参画事業者

- ・食品製造事業者：3社
- ・食品流通事業者：3社
- ・その他の事業者：1社

組織体に事業者が参画する際の要件

食塩の過剰摂取に関する減塩アクションを1つ以上設定すること。

活動内容

- 令和7年度：
- ・減塩推進ネットワーク会議（年2回）の開催
- ・減塩普及啓発イベント

組織体運営・活動推進等の
主管・連携部局

保険福祉部健康づくり推進課

組織体詳細ウェブページ

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045a/gennennnosuishinn.html>

組織体設立年月日

令和6年10月1日

2024年度参画

正式登録

- ・ **福島県**
- ・ 兵庫県

暫定登録

- ・ 秋田県
- ・ 茨城県
- ・ 栃木県
- ・ 群馬県
- ・ 神奈川県
- ・ 福井県
- ・ 山梨県
- ・ 岐阜県
- ・ 三重県
- ・ 滋賀県
- ・ 京都府
- ・ 大阪府
- ・ 山口県
- ・ 長崎県
- ・ 大分県

2025年度参画

暫定登録

- ・ 北海道
- ・ 青森県
- ・ 岩手県
- ・ 宮城県
- ・ 山形県
- ・ 千葉県
- ・ 奈良県
- ・ 広島県
- ・ 徳島県
- ・ 香川県

1 取組の背景 ①福島県民の健康指標

- 県民の死因 第1位：がん、第2位：心疾患、第4位：脳血管疾患
- 3つの生活習慣病の死亡率は全て全国ワーストクラス
- 生活習慣病につながる「メタボ」「肥満」「食塩」「喫煙」の生活習慣に関連する指標も全国ワーストクラス

福島県民の健康指標

全がん死亡率

69.4 (全国ワースト4位)

(2023年国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計・75歳未満年齢調整死亡率))
※人口10万人当たりの死因死亡率
※基準人口は昭和60年モデル人口

脳血管疾患死亡率

男性 109.6 女性 75.2

(全国ワースト10位) (全国ワースト3位)
(2020年人口動態統計特殊報告・年齢調整死亡率)
※人口10万人当たりの死因死亡率
※基準人口は平成27年モデル人口

心疾患死亡率

男性 212.9 女性 118.9

(全国ワースト8位) (全国ワースト10位)
(2020年人口動態統計特殊報告・年齢調整死亡率)
※人口10万人当たりの死因死亡率
※基準人口は平成27年モデル人口

食塩摂取量

男性 11.9g → 11.1g 女性 9.9g → 9.0g
(全国ワースト2位→11位) (全国ワースト2位→20位)
(2016年→2024年国民健康・栄養調査)

喫煙率

男性 33.2% 女性 10.5%
(全国ワースト1位) (全国ワースト2位)
(2022年国民生活基礎調査)

メタボ率

19.5% (全国ワースト4位)

(厚生労働省特定健診・特定保健指導の実施状況
2023年度都道府県別特定健康診査・特定保健指導・
メタボリックシンドロームの状況)

肥満者の割合

男性 39.4% 女性 26.6%

(全国ワースト7位) (全国ワースト3位)
(厚生労働省第10回NDBオープンデータ
2022年度特定健診 検査)



第三次健康ふくしま21計画

- 令和6年度から第三次計画がスタート（計画期間：R6～R17の12年間）
- 基本目標の達成に向け、4つの主要施策を展開するとともに、重点スローガンを設定
- 重点スローガンのロゴマークを作成し効果的に情報発信を実施

<施策体系図>

基本目標

健康寿命の延伸と健康格差の縮小

重点スローガン

みんなでチャレンジ！ 減塩・禁煙・脱肥満

主要施策1

個人の行動と健康状態の改善

1-1 生活習慣の改善

(1)栄養・食生活 (2)身体活動・運動 (3)休養・睡眠
(4)飲酒 (5)喫煙 (6)歯・口腔の健康

1-2 生活習慣病の発症予防・重症化予防

(1)がん (2)循環器病 (3)糖尿病 (4)COPD

1-3 生活機能の維持・向上

主要施策2

社会環境の質の向上

2-1 社会とのつながり・こころの健康の維持・向上

2-2 自然に健康になれる環境づくり

2-3 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤づくり

主要施策3

ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

3-1 子ども

3-2 高齢者

3-3 女性

主要施策4

東日本大震災・原子力災害の影響に配慮した健康づくり

県民に親しまれる
スローガンの
ロゴマークを発信し
取組を推進！！

<テキスト版>



<イラスト版>



2 食環境づくりの取組

事業の概要

健康長寿の実現に向け、働き盛り世代の県民の食塩摂取量の実態を把握するとともに、県民の塩分の過剰摂取の改善につながる普及啓発等を行うなど、誰もがおいしく減塩できる食環境づくりを推進する。

ポイント

「おいしく減塩」

本県の豊かな発酵文化である味噌・醤油等のうま味を活かし、おいしく無理なく適切な塩分濃度を知り・実践する



県民の食環境

新聞・メディアで

- 毎月17日（減塩の日）～19日（食育の日）
- 定期的な情報発信
- 関心を高める仕掛け、簡単にできる手法の発信等

地域で

- 適切な塩分濃度の体験を伴う活動を実施
- 食品に含まれる食塩相当量の見える化
- 加工食品、多く食べがちな食品の食塩の量の情報発信
- 管理栄養士等派遣による食育等支援活動で、塩分濃度の体験や食事の適量に関する啓発

県民に 知ってほしいこと

- ①適切な塩分濃度
- ②食事の適量

飲食店で

- 適塩・適量を実践しやすい環境づくり
- 「おいしいけど、健康のために〇〇します」等
- 媒体配置等で、実践を後押し

スーパーで

- おいしく適塩な惣菜等の開発と販売
- ベジ・ファーストの実践を促す環境づくり

事業所で

- 食塩摂取量の実態把握
- 給食の段階的な減塩、従業員の適塩＋適量教育

減塩推進ネットワーク会議で推進体制を整備

産学官連携による食環境づくりを推進

【R7】 第1回減塩推進ネットワーク会議 R7年7月23日開催

【目的】

県内企業や関係団体等に対し取組方針等の理解を図り、減塩の取組への参画を促す。

【参加者】

福島県食育応援企業37名、関係機関・団体等9名、市町村26名、県保健福祉事業所6名、
県外の自治体8名

【内容】

■行政説明①「ふくしま減塩推進の取組の振り返り」

■行政説明②「厚生労働省 食環境戦略イニシアチブについて」

■行政説明③「減塩アクションプロジェクトについて」

■取組発表「減塩アクションプロジェクト参画と今後の取組について」

(アポクリート株式会社、国分東北株式会社、キッコーマン食品株式会社、キューピー株式会社)

<参加者からの意見等>

- ・福島県民の健康課題を再認識し、貢献方法を考える貴重な場であった。
- ・各社の取組や情報共有が大変参考になり、有益な機会であった。
- ・減塩推進に興味のある自治体や企業との紹介・連携の機会があればうれしい。
- ・福島県民の健康課題を再認識し、自社の貢献について考える貴重な場となった。各企業の取組内容共有から多くのアイデアを得た。
- ・健康意識の改善へ着実に前進していると感じた。

行政栄養士及び県栄養士会向け講習会

【実施概要】

子どものころからの減塩知識や食生活を意識づけるため、厚生労働省が作成した子ども向け減塩普及啓発資料等を用いた「子ども向け減塩ワークショップ」を学び、地域での普及啓発に活用する。

【参加者】

福島県食育応援企業団、関係機関・団体、市町村、保健福祉事務所等 61名

【R7】第2回減塩推進ネットワーク会議 R8年1月29日開催

【目的】

県内企業や関係団体等に対し取組方針等の理解を図り、減塩の取組への参画を促す。

【参加者】

福島県食育応援企業43名、関係機関・団体等9名、市町村23名、県保健福祉事業所5名、
県外の自治体7名

【内容】

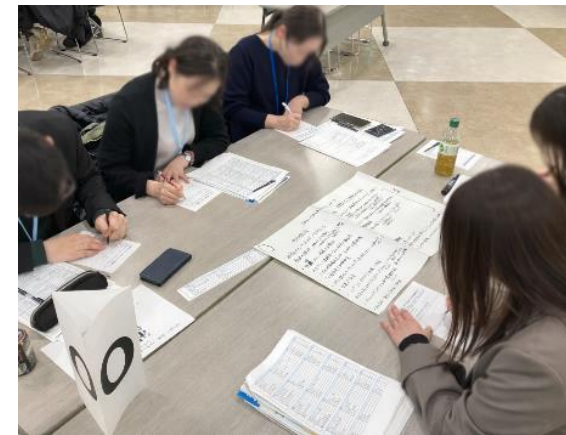
- 本県の減塩事業の取組状況について
- 事例発表「ふくしま減塩アクションプロジェクト参画事業者の取組」
- グループディスカッション「家庭につながる減塩推進について」

【助言】

女子栄養大学 副学長 武見 ゆかり 氏

【総評】

福島県立医科大学 医学部循環器内科学講座 教授 石田 隆史 氏

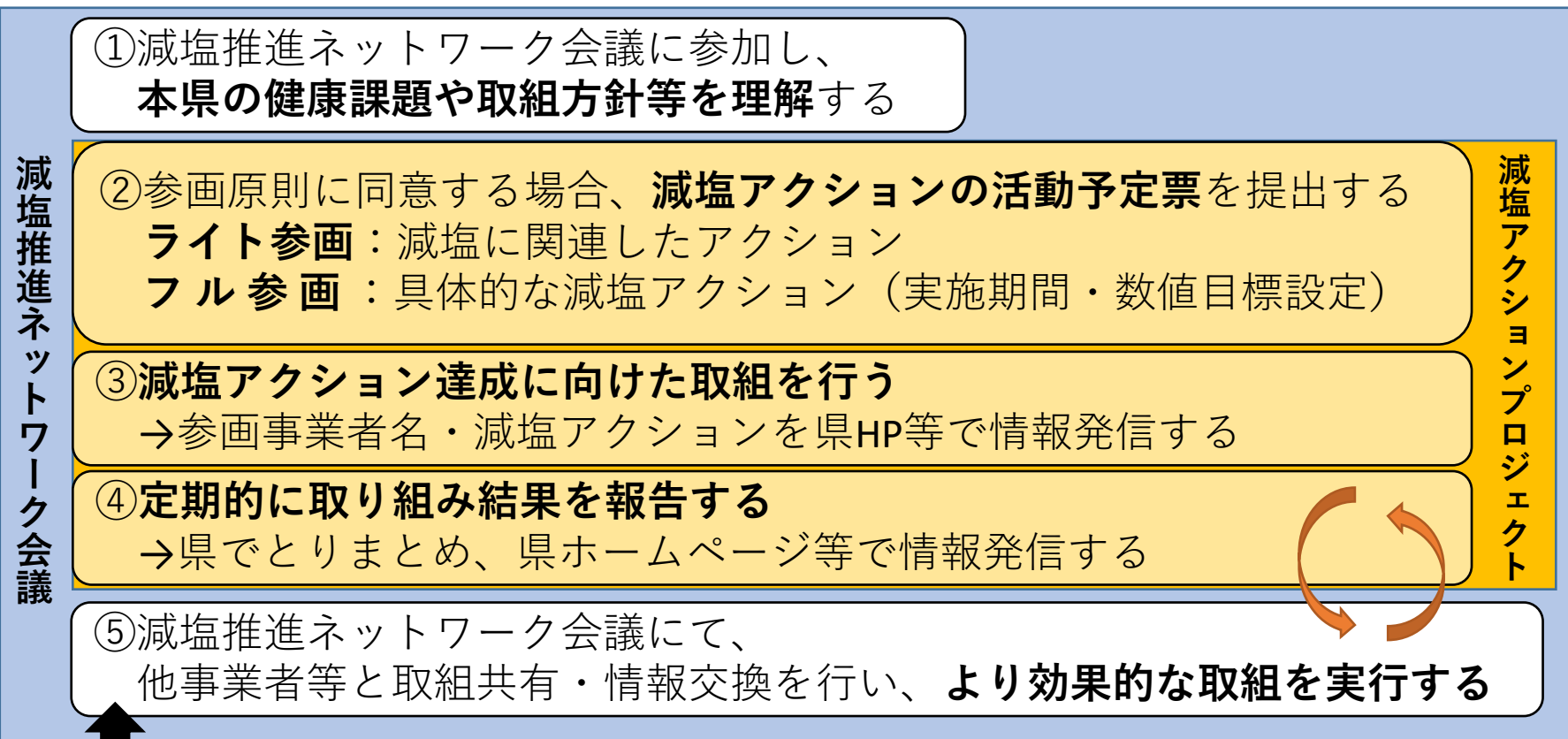


できること・できるとよいこと

- ・子どもへの減塩教育→保護者への伝達
- ・「子どもの減塩」をメインにしながらも親も減塩
- ・親子で意識を変えられる働きかけ
- ・減塩をポジティブなフレーズに！
- ・減塩のコーナー化による減塩商品を手に取りやすくなる取組
- ・健康意識の低い人、無関心層の方にもアプローチ など

減塩アクションプロジェクト参画企業の拡大

参画事業者への期待と役割



プロジェクト参画事業者だけでなく、市町村・県食育応援企業・関係団体等が参加し、
「他事業者等の取組を知る」「課題の共有や工夫を知る」「連携強化やきっかけを得る」等、
みんなで食環境づくりを推進していく

ふくしま減塩アクションプロジェクト

参加事業者募集

本プロジェクトに参画いただける事業者（食品製造、食品流通、メディアをはじめ多様な業種）を募集します。

1 減塩アクションの提出方法

「減塩アクションの活動予定票」の提出をもって、プロジェクトへの参画申請とします。
参画原則に同意する場合、「減塩アクションの活動予定票」に必要事項を記入の上、下記宛先にメールでお送りください。
なお、活動予定票については「参画のための手引き」を御参照の上、作成ください。

様 式：減塩アクションの活動予定票（Word）

提出先

【宛先】福島県保健福祉部健康づくり推進課「減塩アクションプロジェクト」事務局

e-mail：kenko-zukuri@pref.fukushima.lg.jp

【cc】株式会社NTTデータ経営研究所

（2025年度 ふくしまおいしく減塩・食環境づくり推進業務 受託事業者）

「ふくしまおいしく減塩・食環境づくり推進業務」事務局

e-mail：fukushima_foodenvironment@nttdata-strategy.com

参画のための手引き【令和7年6月版】[\[PDFファイル／1.96MB\]](#)

2 参画原則

(1) 県が進める健康的で持続可能な食環境づくりの取組に賛同する。

(2) 栄養の課題（食塩の過剰摂取）に関する減塩アクションを設定する。

(3) ウォッシュ（注）にならない減塩アクションを設定する。

注：「ウォッシュ」とは、消費者等への訴求効果を狙い、表面的な取組、見せかけの取組を行うことをいう。

(4) 減塩アクションが公表されることに同意する。

(5) 減塩アクション設定後、進捗状況等を毎年アンケート形式で報告する。

(6) 本会議の取組推進を阻害しない。

(7) 反社会的組織・活動に関わりがない。

3 参画事業者（令和8年3月時点 22事業者）	
・佐藤株式会社	… 活動予定票
・みやぎ生協・コープふくしま	… 活動予定票
・アボクリート株式会社	… 活動予定票
・国分東北株式会社	… 活動予定票
・キッコーマン食品株式会社 東北支社郡山支店	… 活動予定票
・キューピー株式会社	… 活動予定票
・大塚食品株式会社	… 活動予定票
・イオン東北株式会社	… 活動予定票
・亀田製菓株式会社	… 活動予定票
・株式会社マルト商事	… 活動予定票
・理研ビタミン株式会社 仙台支店	… 活動予定票
・株式会社ツルハ	… 活動予定票
・ウエルシア薬局株式会社	… 活動予定票
・株式会社ヨークベニマル	… 活動予定票
・株式会社福島中央テレビ	… 活動予定票
・株式会社リオン・ドールコーポレーション	… 活動予定票
・株式会社玄米酵素	… 活動予定票
・会津中央乳業株式会社	… 活動予定票
・カゴメ株式会社東北支店	… 活動予定票
・株式会社福島リビング新聞社	… 活動予定票
・株式会社いちい	… 活動予定票
・株式会社ラジオ福島	… 活動予定票

11

減塩イベントの開催

※スライドのみ

ヨークパーク郡山

**減塩イベントに
参加しよう!**

プレゼント
オリジナル
エコバック

9/20 11:00~16:00
参加無料

会場 1F たいようのひろば

◆イベント内容
①「おいしく減塩」を学ぼう!
②野菜の推奨摂取量を測定しよう!
③「おいしく減塩」を体験しよう!

おいしく減塩に取り組みましょう!
◀詳しくは福島県の公式サイトから

福島県保健福祉部 健康づくり推進課



ふれ愛セミナー (マルト平尼子店)



ふくしま推しの健活フェスタ2025

**ふくしま
推しの健活
フェスタ2025**

入場無料
27日 9月27日(土) 10:00-16:00
28日 9月28日(日) 10:00-16:00
会場 南成山公園フロンティア広場 ビッグルーフ

◆イベント内容
27日 11:50~13:00 28日 11:50~13:00
27日 13:10~14:00 28日 13:10~14:00
27日 14:10~15:00 28日 14:10~15:00
27日 15:10~16:00 28日 15:10~16:00

会場内の各エリアにある体験スペースで、いろんな健康づくりに挑戦しよう!

さらに! 県内各種団体も多数ブース出展!



福島銀行



あなたの感想を教えてください!!

＜減塩、食塩不使用でも十分満足＞
(今後、減塩や食塩不使用を購入したい!)

＜どちらでもよい＞

＜減塩、食塩不使用は物足りない＞
(今後、通常の食塩を購入したい!)

減塩＋ベジ推進キャンペーン

①減塩



福島県「おいしく減塩」
の基準に合わせた開発

※新商品開発は任意

福島県「おいしく減塩」
の基準以外での開発

県でレシピ確認

販売！

「おいしく減塩」に
取り組んでいること
を周知

②減塩＋ベジ・推進



みんなでチャレンジ！
減塩・禁煙・脱肥満



令和7年11月～令和8年2月に
県内のスーパーでキャンペーンを展開

【目的1】減塩や野菜摂取に関する普及啓発

【目的2】減塩や野菜摂取の効果検証

→県民の意識・行動変容

→事業者の減塩・野菜関連商品の売上増加

イベント参加者のアン
ケート・ヒアリング
およびPOSデータ等
による検証

福島県「おいしく減塩」の基準（令和6年～）

区 分	基 準
単品の総菜 ○主菜 ○副菜 ○汁物	<u>各区分で①②の両方を満たすこと</u> 【主菜】 ①たんぱく質の量：1人分当たりのたんぱく質の量は12g以上とする。 ②おいしく減塩：1人分当たりの食塩相当量は1.2g以下とする。 【副菜、汁物】 ①野菜等の使用量：1人分当たりの野菜の使用量は70g以上とする。 （きのこ・海藻・いもは野菜に含む。） ②おいしく減塩：1人分当たりの食塩相当量は1.2g以下とする。
弁当 ○主食＋主菜＋副菜 ○主食＋副食（主菜・副菜）	<u>①②のいずれかを満たすこと</u> ①ちゃんと（エネルギー量：450kcal～650kcal）1食あたり 主食（飯・パン・めん類）：飯の場合150～180g（目安） 主菜（魚・肉・卵・大豆製品）：60～120g（目安） 副菜（野菜、きのこ、海藻、いも）：100g以上 食塩相当量：3.0g未満 ②しっかり（エネルギー量：650kcal～850kcal）1食あたり 主食（飯・パン・めん類）：飯の場合170～220g（目安） 主菜（魚・肉・卵・大豆製品）：90～150g（目安） 副菜（野菜、きのこ、海藻、いも）：100g以上 食塩相当量：3.5g未満

スーパー×福島県「減塩＋ベジ推進キャンペーン」

県内スーパー6社の協力を得て、減塩惣菜等の販売と合わせて、体験型のブース設置等による「減塩」及び「野菜摂取」に関する普及啓発を実施しました。

協力スーパー	店舗・日時	主な実施内容
コープふくしま 	店舗：方木田店（福島市） 日時：令和8年1月17日（土） 10時～15時30分 ※この他、令和7年11月～令和8年2月の17日「減塩の日」に全店舗で減塩の普及啓発を実施	・減塩商品の試食 ・ワークショップ ・健康チェック ・健康相談 ・減塩学習会
(株)リオン・ドール 	店舗：田島バイパス店（南会津町） 日時：令和8年1月17日（土）10時～16時	・減塩商品の試食 ・食生活改善推進員による減塩啓発 ・ふくしま健康応援メニューの配付
イオン東北(株) 	店舗：福島店（福島市） 日時：令和8年1月24日（土）10時～17時 1月25日（日）10時～17時	・減塩商品の試食 ・減塩調味料を使用したふくしま GAP 野菜の試食 ・ベジチェック
(株)ヨークベニマル 	店舗：ヨークパーク（郡山市） 日時：令和8年2月7日（土）10時～17時	・減塩トークショー ・減塩商品の試食
(株)マルト 	店舗：SC 高坂店（いわき市） 日時：令和8年2月14日（土）10時～12時	・適塩冷凍弁当の試食 ・デジタルサイネージでの減塩啓発
(株)いちい 	店舗：いちい蓬萊店 日時：令和8年2月18日（水）10時～13時 店舗：いちい飯坂店 日時：令和8年2月24日（火）10時～13時	・減塩みそ汁の試飲 ・ベジチェック

親子で学ぶ・体験する「減塩ワークショップ」の実施

趣旨・目的

味噌や醤油など発酵食品のうま味をいかした「おいしく減塩」の調理実習及び「子ども向け減塩ワークショップ」を活用し、減塩アクションプロジェクト参画事業者の協力のもと、産学官連携により「減塩」を学び・体験できる機会を実施し、子どもへの減塩教育・子どもを通じた保護者等への気づきを促し、今後の行動変容につながる働きかけを行う。

【実施内容】

■実施主体：福島県（委託事業者：NTTデータ経営研究所）

■実施者：減塩アクションプロジェクト参画事業者

■開催時期：令和7年11月～令和8年2月末日

■対象者：小学生とその保護者等のペア 10組程度

■内容：タイムスケジュール（想定）のとおり。

①「おいしく減塩」献立の調理実習（指定献立）

②「減塩のいいことがわかる!!」減塩ワークショップ



タイムスケジュール（想定）	
10:00～10:10	① 受付
10:10～10:15	② 開会・連絡事項（5分）
10:15～11:00	③ 減塩ワークショップ（45分）
11:00～11:10	④ 身支度など（10分）
11:10～12:30	⑤ 調理実習（80分）
12:30～13:00	⑥ 試食・献立説明・感想（30分）
13:00～13:20	⑦ 後片付けが終わり次第解散

(株)マルト 	日時：令和7年11月22日（土） 10時～14時 会場：常磐ガスキッチンスタジオ（いわき市）
イオン東北（株） 	日時：令和8年1月25日（日） 10時～13時 会場：イオン福島店（福島市）
コープふくしま 	日時：令和8年2月14日（土） 10時～13時30分予定 会場：福島県男女共生センター（二本松市）
	日時：令和8年2月28日（土） 10時～13時30分予定 会場：伊達市保原総合公園簡易宿泊所とまっぺ
(株) リオン・ドール コーポレーション 	日時：令和8年2月21日（土） 10時～13時30分予定 会場：会津稽古堂クッキングスタジオ（会津若松市）

3 R8の取組

①減塩推進ネットワーク会議

②減塩イベントの開催

③スーパーにおける減塩＋ベジ推進モデル事業

④減塩アクションプロジェクト参画企業の拡大

⑤「減塩ワークショップ」を活用した親子で学び、体験する普及啓発

⑥「減塩」「ベジ推進」に関する情報発信

おわりに

「みんなで食環境づくりを推進していく」ため、
現状を維持するためのさらなる基盤づくり、新たな関係づくりをすすめます！

